

オンリーワンで行こう！元気な企業たち



青森県には、アイデアを原動力に、新しい技術を全国・海外へ発信し続ける元気な企業や団体がたくさんあります。共通するのは、「創意工夫で他社との差別化を図る」、つまり、オンリーワンで行こう！ということ。

信頼性の高い検査／計測技術は世界トップレベル！(株)日本マイクロニクス(平川市)

現代社会を便利に、豊かに、そして楽しくする**エレクトロニクスデバイスの検査装置「プローブカード」を開発**。そのシェアは世界トップクラスを誇る！ナノの領域へ微細化が進む半導体や、モバイル端末から車載、医療分野まで用途が拡大するフラットパネルディスプレイなどの品質や性能、そして信頼性の向上を支えている。

世界初！食品カロリー自動測定装置 (株)ジョイ・ワールド・パシフィック(平川市)

光を使った分析法の1つである近赤外線分光法を利用し、わずか数分でカロリー等の栄養成分の測定が可能！原材料をはじめ調理食品や飲料などの栄養を測定することに成功したことで、食品業界へ普及している。世界各国の特許を取得し海外展開も始めている。

世界トップレベル！産業用固定抵抗器 ニッコーム(株)(三沢市)

世界トップレベルの精度を誇る産業用固定抵抗器を開発。薄膜精密抵抗器およびパルス用高電力抵抗器を開発し、電力エネルギー機器、無線通信機器、高速鉄道、ハイブリッド自動車や電気自動車などに搭載されている。世界の快適で安心できる社会基盤づくりに貢献している。

世界シェア8割！角度センサー 多摩川精機(株)(八戸市、三沢市及び南部町)

ハイブリッドカー(HV)や電気自動車(EV)の心臓部である駆動用モーターに搭載する**「角度センサー」**を世界で最初に開発し、現在走っている世界のエコカーの80%に搭載されている。同社の製品抜きではエコカーが作れない！

資料：全国のモノ作り中小企業300社(経済産業省)、
東北の「光り輝く」企業たち(財団法人東北産業活性化センター)、
県地域産業課、県産業立地推進課、県新産業創造課

世界初！超高精度平面と特殊工学素子「クロビット」(株)テクニカル(弘前市)

産業技術総合研究所との共同研究による**世界最高水準の平面度、角度測定器を完備し、超高精度な最先端の光学部品**を製造。その技術を活用し同社が発明した「クロビット」は、高精度のプリズムを組み合わせ、立体の他方向の面を同時に画像にすることを可能にした、オンリーワン技術。日本、アメリカ、ヨーロッパで特許取得。

世界に羽ばたく確かな技術力 (株)橋機工(五戸町)

一貫生産体制を構築した全国ネットワークにいち早く参画することで、**航空機産業へ本格参入**。航空宇宙産業に特化した品質マネジメントの国際規格「JISQ9100」を取得し、**小型ジェット機の脚部品を製造**。

プロが絶賛！「音と電源の専門家集団」(株)光城精工(平川市)

オーディオ機器の音質向上に重要な役割を果たすクリーン電源を開発。
出荷実績は国内トップ！音楽スタジオ、劇場、評論家から高く評価。

世界トップレベルの電着画像技術！テフコ青森(株)(弘前市)

0.03ミリ～0.15ミリの薄い金属製特殊シールを作り出す技術は、世界で生産される高級腕時計の文字盤をはじめ、テレビ、パソコン、自動車のブランドロゴマークなどにも使われている。

小型光センサー糖度計のパイオニア(先駆け) 東和電機工業(株)(藤崎町)

樹木に実ったままのりんごの甘さも測定できる「非破壊・ハンディタイプ」の光センサー糖度計を世界に先駆けて製品化！**ハンディタイプの光センサー糖度計のシェアトップクラス！**

温泉いっぱい ん~幸せ!



環境省の温泉利用状況報告(平成30年3月末日現在)によると、青森県は温泉地数が全国第**5位**、湧出量は全国第**4位**の温泉の宝庫!

温泉地数 (か所)	湧出量 (ℓ/分)
1位 北海道 244	1位 大分県 279,549
2位 長野県 215	2位 北海道 201,055
3位 新潟県 145	3位 鹿児島県 157,989
4位 福島県 136	4位 青森県 144,874
5位 青森県 129	5位 熊本県 131,224

市街地でも温泉が湧き出すので、近所の銭湯にも温泉銭湯が多くあります。

青森県の一般公衆浴場数は**303ヶ所**(平成29年度)で、全国第3位!人口**10万人**当たりでは**24.1ヶ所**(平成28年度)でダントツの**全国第1位!**なんと**全国平均の7.8倍**です。(※ピカイチデータ100!もご覧ください。)

平成30年家計調査(家計収支編・二人以上の世帯)によると、青森の「温泉・銭湯入浴料購入金額」(1世帯当たり)は全国第3位。いつでも温泉や銭湯に入れるよう車に入浴セットを常備している人も珍しくありません。青森県民は、温泉や銭湯が本当に好きなんです。

イチ押し
ニ二あらかると

◆国民保養温泉地指定第1号 酸ヶ湯温泉(青森市)

300年ほど前、江戸時代から開かれていた山の温泉宿。湯治客も多い。名物は80坪の総ヒバ造り大浴場「千人風呂」。昭和29年には国民保養温泉地第1号に指定!これは、数ある温泉地のうち、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な温泉地として優れた条件を備えている地域を環境省が指定しているものです。

資料:温泉利用状況報告(環境省)、環境省自然環境局HP、衛生行政報告例(厚生労働省)
統計でみる都道府県のすがた(総務省)、アプティネット「温泉」HP(県誘客交流課)

青森空港除雪隊 「ホワイトインパルス」



青森空港は本州最北端の豪雪地帯に位置し、年間の累計降雪量が10mを超えることもある空港です。航空機用の冬タイヤはないので、冬期間の離発着のためには、滑走路などの雪や氷を取りのぞくことが必要です。

除雪を行い、青森空港の冬の安全運航を支えているのが、青森空港除雪隊ホワイトインパルスです。

滑走路を除雪する場合、スノーブラウ、スノースーパー、ブラウ付きスーパー合計10台が、斜め一列に隊列を組んで除雪します。

青森空港の滑走路は3,000m、除雪面積は約55万㎡！東京ドーム約12個分の面積を、約40分で除雪する計算になります。



スノーブラウ

スノースーパー

ブラウ付スーパー

期待のピカイチ！！

青森空港の外国人入国者数



青森空港から入国する外国人数が高い水準をキープして
います！！

平成30年は38,386人と若干落ち込みを見せたものの、東北の中では仙台空港に次いで2位、北東北の中ではダントツの1位となっています。

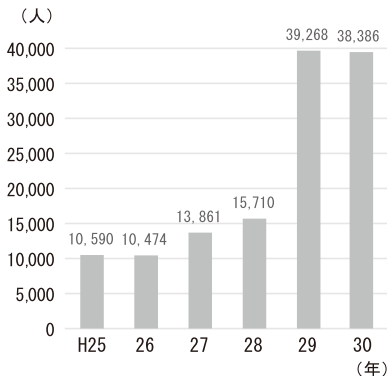
国・地域別にみると、平成29年5月に青森―天津線が就航した中国が15,168人と最多で、次に韓国の13,753人、台湾の6,958人が続きます。令和元年7月には、新たな国際定期便として青森―台北線が就航したことにより、今後さらに多くの台湾人観光客が訪れることが期待されます。

青森空港は国内線も含めた利用者数も増加傾向にあり、空の玄関としての役割が高まっています。



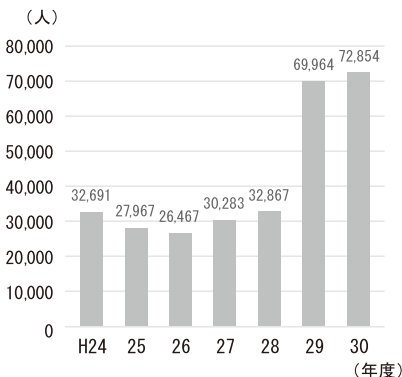
エバー航空 青森―台北線

青森空港 外国人入国者数



資料：法務省「出入国管理統計」

青森空港 国際定期便利用者数



資料：青森空港管理事務所「青森空港概要2019」

期待のピカイチ！！

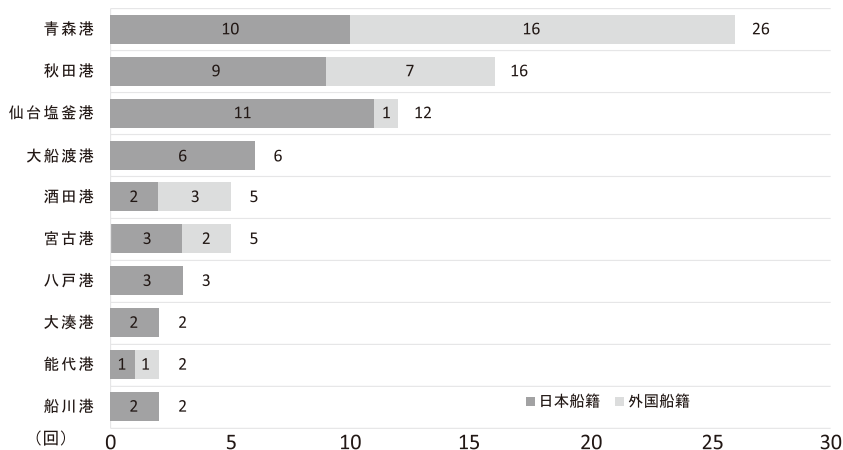
青森港へのクルーズ客船寄港



青森港に寄港するクルーズ客船の数が年々増えています！

平成30年は過去最多の26隻が寄港し、全国28位、東北の中では1位となっています。日本船籍よりも外国船籍のクルーズ船の入港が多く、海外観光客の増加や地場産品の知名度アップなどが期待できます。また、令和元年には憧れの客船の代名詞であり、女王陛下命名の船としても世界中で知られている「クイーン・エリザベス」をはじめ、7隻のクルーズ船が青森港に初入港しました！

東北地方港湾別クルーズ船寄港数(平成30年)



新中央埠頭に停泊するクイーン・エリザベス

資料：県港湾空港課

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

青森市

日本最大級の
上路式アーチ橋!
「城ヶ倉大橋」



城ヶ倉大橋は、全長360m・アーチ支間長(支える足と足の間の長さ)255mと日本最大級の長さを誇る上路式アーチ橋! 谷底からの高さは122mにもおよび、四季をととして城ヶ倉溪谷の美しい自然を楽しめる大人気の絶景スポット!!

弘前市

日本一太い!
弘前公園の
ソメイヨシノ



弘前公園(弘前城)の三の丸緑の相談所中庭のソメイヨシノは、環境省「巨樹・巨木林データベース」によると、ソメイヨシノ単幹では日本一の太さである。100年以上たった現在でも、衰えを感じさせることなく立派な花を咲かせている。

八戸市

東北最大規模の
アリーナ!
世界水準の
屋内
スケート場



令和元年9月29日にオープンした長根屋内スケート場(YSアリーナ)は、国際大会の開催が可能な国内3箇所目の屋内リンク。国内外の大会が行われる世界水準の屋内スケート場であるとともに、ライブコンサート開催時の観客収容数は東北最大規模の9千人。

黒石市

日本一のジャンボ
こけしと
木地だるま!
雪だるま!



平成22年(2010年)10月に完成した「津軽こけし館」のジャンボこけしは、樹齢300年以上のカツラを使用し、高さ4.2195mで日本一! 木地だるまも高さ2m・重さ755kgで日本一! また、高さ31.425mの巨大雪だるまは日本新記録(H14年)!

五所川原市

高さ日本一!
立佞武多



平成10年(1998年)に約80年ぶりに復活した立佞武多は、高さ23m、重さ19tという巨大さで、その高さは7階建てビルに匹敵! 8月の立佞武多祭りで巨大な山車が天を焦がし街を練り歩く姿は圧倒的! 「立佞武多の館」には3台の立佞武多が常設展示中。

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

十和田市

神秘的!
十和田湖と日本一
のブナ



藍色が印象的な十和田湖は、面積61.10km²、最深部326.8mの日本で3番目に深い湖!さらに湖から流れ出た水が奥入瀬渓流となり、千変万化の流れと森の緑が美しい景観を作り出しています。その高台には「森の神」とよばれ、幹回り約6mで単木として日本一のブナが鎮座しています。

三沢市

太平洋無着陸
横断飛行の
発進地!



昭和6年(1931年)、地元住民の支援を受けて三沢の海岸を飛び立ったミス・ビードル号は、世界初の太平洋無着陸横断飛行を成し遂げ、米本土へと到達した。県立三沢航空科学館では、ミス・ビードル号の精密な復元機をはじめ十和田湖底から引き揚げた旧陸軍機などの貴重な航空資料を間近に見ることができる。

むつ市

日本三大霊場
「恐山」



慈覚大師円仁が862年に開山。宇曾利山湖には世界で最も強い酸性の湖に住むと言われる魚類「ウグイ」が生息する。また、湖畔に広がる白砂の浜辺は「極楽」に、荒々しい岩間から硫黄臭が立ちこめ、風車が回る様子は「地獄」に見立てられているとも。この世とは思えない幻想的な風景を感じることができる場所。

つがる市

世界最大級の
埋没林!



約30,000年前の最終氷河期後期の針葉樹林が、急激な温暖化に伴い水没・枯死して形成された埋没林。つがる市木造出来島付近の日本海岸の崖面に南北1kmにわたって見られ、泥炭層中に1~2mの間隔で根株などが確認できる。数千本が埋没されるというその規模は世界最大級。

平川市

世界一の
扇ねぶた!



津軽が誇るねぶた祭。その「ねぶた」が、なんと高さ12m、横幅9.2mで、津軽一!津軽一なら世界一!!さらに、水墨画調のねぶたもココだけ。平川市ねぶた展示館で会える。毎年8月2日、3日に開催される「平川ねぶたまつり」の合同運行にも出陣。

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

平内町

「養殖ホタテ」
発祥の地!



養殖ホタテ発祥の地である平内町の水揚げは、ほたて生産量全国第2位を誇る青森県において約半数を占め、数量・金額ともに県内第1位!平成27年3月にデビューした県内2番目の新・OMOTENASHIご当地グルメ「平内ホタテ活御膳」も大好評!

今別町

青函トンネル
本州側入口と
JR北海道の駅が
ある町!



青函トンネルの本州側入口があり、そこから出てくる新幹線を間近で見ることが出来、見る者に驚きと感動を与える。「奥津軽いまべつ駅」は本州最北端の新幹線停車駅であり、JR北海道の駅としては最南端に位置する駅で大自然に囲まれた秘境駅として知られている。

蓬田村

東北最大!
玉松海岸
大型離岸堤



玉松海水浴場沖に自然の島をイメージしてつくられた大型離岸堤(全長300m)は東北一の大きさ!美しい海岸を浸食から守っている。

外ヶ浜町

日本一短い私鉄と
日本唯一の
階段国道



龍飛崎、「青函トンネル記念館」から体験坑道へつながる「青函トンネル竜飛斜坑線」(778m)は日本一短い私鉄で、わずか9分で海面下140mへ到着!また、「国道339号」は日本唯一の階段国道(388.2m、362段)!歩行者専用だが道路標識あり。

鯉ヶ沢町

北前船が運んだ
津軽地方で唯一の
伝統行事!



白八幡宮大祭は「津軽の京まつり」と称され、340年以上の歴史があり、現在は4年に1度開催されている伝統行事。北前船交易によって上方から運ばれてきた文化の影響を受けたものとされている。平成25年、県無形民俗文化財指定。平成29年、「北前船文化」が日本遺産に認定!

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

深浦町

日本最大!
北金ヶ沢の
イチヨウ



幹周22m、樹高31m、樹齢約千年、とても一本の木とは思えぬ巨大さ! 垂れ下がった気根に触れると母乳の出が良くなるとして、古くから垂乳根のイチヨウとして崇拝され、平成16年(2004年)、国の天然記念物に! 11月中旬から下旬には「ビッグイエロー」と題し、ライトアップを実施!

西目屋村

県内唯一!
ダム湖の中で
アウトドア体験



津軽地域の水瓶として県内トップの大きさを誇る津軽ダム。ダム湖「津軽白神湖」では、水陸両用バス「津軽白神号」での遊覧やカヌー・SUPなどアウトドアスポーツができる。ダム湖の中で体験できるのは県内でここだけ!

藤崎町

りんごの王様
「ふじ」
発祥の地!



りんご生産量世界一の品種「ふじ」の発祥地! 旧農林省園芸試験場東北支場が23年間の歳月をかけ育成し、昭和37年(1962年)に命名・登録された。「ふじ」という名前は日本を代表する富士山と、誕生地である藤崎にあやかって命名。

大鰐町

日本初!
温泉熱による
味噌醸造



温泉で有名な大鰐町。明治43年(1910年)に日本で初めて温泉熱を利用した味噌の醸造に成功した津軽味噌醤油(株)は、以来、日本唯一の温泉熱醸造による製造をしている。また、約400年の歴史をもつ伝統冬野菜「大鰐温泉もやし」は、現在でも大鰐の温泉を利用して栽培されている。

田舎館村

「田んぼアート」
発祥の地!



広大な田んぼに古代米など色の異なる稲を使ってアートを描く「田んぼアート」。平成27年(2016年)には、雪が積もった田んぼに足跡で描くスノーアートを「冬の田んぼアート」として国内初公開! 毎年2月上旬に、期間限定で開催。夏と冬で趣が変わる田んぼアートをお楽しみに!

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

板柳町

世界で一番
りんごを
楽しめる
町!



「ふるさとセンター」は木から葉っぱまでりんごの“全て”を利活用していて、楽しくすごせる「学んで、遊んで、泊まれるりんごの里」。また、全国唯一のりんご専門市場「津軽りんご市場」において、りんごまるかじりリレーで世界記録1,101人を樹立(平成28年12月)。

鶴田町

日本一長い木の
三連太鼓橋!
「鶴の舞橋」



「鶴の舞橋」は全長300m・幅3mで、県産ヒバ材の丸太3千本と板材3千枚を使用!橋がかかる津軽富士見湖は日本有数の大きな農業用人工湖!日本一“長い木”の橋を渡って、目指せ!“長生き”日本一!?!また、ここ富士見湖パークには、日本初の360度ループの滑り台もある!

中泊町

県内水揚げ量
ナンバーワンの
ウスメバル!!



東京豊洲市場でも高級魚として扱われるウスメバルの水揚げ量は県内ナンバーワン!地域を盛り上げようと誕生した新ご当地グルメ「中泊メバルの刺身と煮付け膳」は格別!地元の中里高校生が開発したオリジナルたい焼き「メバ焼き」も大反響!お土産用で「中泊メバルでチン!」、「中泊メバルせんべい」もどうぞ!冬季限定新メニュー「中泊メバルちゃんご膳(メバちゃん鍋)」も大好評!

野辺地町

国内唯一!
復元北前型井才船
「みちのく丸」と
日本遺産認定の
まち



江戸時代から明治期にかけて活躍した「北前船」を実寸大で復元した木造船「みちのく丸」が平成30年4月に常夜燈公園に陸揚げ。全長32m、幅8.5m、高さ28mの迫力満点の光景が見られるのは国内唯一!平成30年5月には北前船をストーリーとする日本遺産に8件の史跡、資料、文化が認定!

七戸町

現存する
日本最古の
羽子板!



応永3年(1396年)、南部政光によって創建されたといわれる見町観音堂の堂内には、絵馬185点のほか日本最古と考えられる10点を含めた羽子板14点が納められていた。平成2年(1990年)に国の重要有形民俗文化財に指定され、一部は鷹山宇一記念美術館で保管・公開されている。

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

六戸町

県内唯一!
『青森シャモロック
ザ・プレミアム
#6』



全国に通用する地鶏を目指して開発された「青森シャモロック」。さらに地鶏本来の味わいを追求するため、町シャモロック生産組合が県産業技術センター畜産研究所と開発したのが特別飼育「青森シャモロック ザ・プレミアム#6(ナンバーシックス)」! 特産野菜が引き立つ濃厚な出汁が一番の特徴。

横浜町

菜の花への
こだわり
日本一!



菜の花(ナタネ)の作付面積約142ha(R1)は、日本最大級! 菜の花マラソンや菜の花迷路「菜の花フェスティバル in よこはま」を平成3年(1991年)から毎年5月に開催。非焙煎にこだわり一番搾りだけで作った「御たね油」は農林水産大臣賞を受賞するなど、日本一の取り組み!

東北町

地籍を持つ
珍しい湖
「小川原湖」



小川原湖は地籍を持つ珍しい湖。「小川原湖191番地」という地番を持っている! 面積は61.98km²と青森県で一番大きい。水産業では、日本一の漁獲量を誇るシラウオやワカサギをはじめ、「小川原湖産大和しじみ」が全国有数の漁獲量で、地元では「宝湖」と呼ばれている。

六ヶ所村

国内最大級!
メガソーラー
発電所



ユーラス六ヶ所ソーラーパークは、約513,000枚の太陽電池モジュールを設置し、その発電容量115,000kWで国内最大級の規模! 平成27年(2015年)10月から運転開始し、一般家庭約38,000世帯分に相当する電力を発電している!

おいらせ町

鮭のつかみどり
日本一!



町最大のイベント「鮭まつり」の目玉は、奥入瀬川の河川敷で行われる「鮭のつかみどり」! 平成7年(1995年)「第10回しもだ鮭まつり」での鮭の消費量2,000尾は、ギネスブックの参考記録として日本一に認定された。

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

大間町

最高級ブランド!
「大間まぐろ」



一本釣りで有名な「大間まぐろ」は、マグロの中で最も大型の「クロマグロ」(別名ホンマグロ)。身が引き締まり脂が乗った日本一のマグロと評判。平成31年の豊洲市場の初競りでは、3億3,360万円の史上最高値がついた!「黒いダイヤ」とも言われる。

東通村

高さ日本一
レンガ造り
灯台!
「尻屋崎灯台」



高さ32.82m、レンガ造り灯台で日本一の高さ!全ての灯台でも全国第6位!明治9年(1876年)に東北初の洋式灯台として石油式で点灯、明治34年(1901年)には日本初の自家発電による電気式灯台となった。光度は53万カンデラ。全国51基の「恋する灯台」に県内では初めて認定された。

風間浦村

日本唯一!
イカの競泳
「烏賊様
レース」



東京・銀座で開催され大反響を呼び全国的に有名になった日本初(?)の「元祖烏賊様(いかさま)レース」。常設レース場(一周20m、6コース)が、村の「活イカ備蓄センター」にあり、7~10月のレース開催期間中、誰でも参加できる!

佐井村

奇岩怪石の絶景
「仏ヶ浦」!



他に類を見ない奇岩怪岩が約2kmにわたって続く「仏ヶ浦」の絶景!如来の首・五百羅漢・一ツ仏・親子岩・十三仏・観音岩・天竜岩・蓮華岩・地藏堂・極楽浜などの名称があり、冬の厳しい姿、夏の穏やかな姿の両方を見られる。

三戸町

世界最大級の
エクストラ
ドーズド橋!
「三戸望郷大橋」



馬淵川にかかる「三戸望郷大橋」は、橋長400m(中央の塔と塔の間隔は200m)!PCエクストラドーズド工法で造られた橋(つり橋と桁橋を組み合わせた新しい構造形式のコンクリート橋)として、その長さは世界トップクラス!

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

五戸町

日本最古の
カシワの木!



「わむらのカシワの木」(県天然記念物)は、推定樹齢650~750年、樹高22mの大木で日本最古といわれる。江戸時代末期の格式高い武家屋敷の様式を備えた貴重な建造物「旧圓子家住宅」(県重宝)敷地内に立つ。

田子町

日本唯一!
にんにくづくしの
「ガーリック
センター」



日本唯一のにんにくPR用観光施設、その名も「ガーリックセンター」では特産品であるにんにくやにんにくラーメン、にんにく味のお菓子やにんにくアイスなどの加工品を販売しており、まさににんにくづくし。また、にんにく入りの炭酸飲料「タッコーラ」も好評販売中。

南部町

にんにく
「ふくちホホワイト
六片種」
発祥の地!



青森県は日本一のにんにく生産地。色が白く、六片の大玉で、甘味がある「ふくちホホワイト六片種」という県独自の品種は、旧福地村苦米地地区で古くから栽培されていた「苦米地にんにく」を改良したもの!

階上町

県内唯一の
奨励品種
「階上早生
階上そば」!



階上早生階上そばは、青森県のそばで唯一の奨励品種「階上早生」を使用。粘りが強く香りが高いのが特徴。階上町では、①地元で栽培②すべて手打ち③地元で消費という3つのこだわりでそばを提供している。また、「階上早生」で作る蕎麦焼酎やジェラートも人気が高い。

新郷村

絶品!
飲むヨーグルト
世界へ
はばたく!!



青森県の酪農発祥の地と言われる新郷村。村特産の「飲むヨーグルト」は、朝搾りたての新鮮な生乳100%を使用していて、その深いコクとさわやかな酸味は一度飲んだら忘れられない美味しさ!平成28年、県産品のヨーグルトとしては初の米国輸出開始!!

2019年度 青森県統計グラフコンクール

知事賞



知事賞



青森県統計グラフコンクール

青森県と青森県統計協会では、統計に対する関心を深め統計の表現技術の向上を目的として、毎年「青森県統計グラフコンクール」を行っています。

- ◆統計グラフには、複雑な統計数字も簡単・明瞭に表現できる特性があります。
- ◆統計の内容に関係のある絵と組み合わせると、子供からお年寄りまで広く興味をもって見てくれます。
- ◆県内在住の小学生以上の方なら、どなたでも応募できます。
- ◆毎年6～8月末まで募集しています。

あなたの作品を
お待ちしております。
どしどし
ご応募ください。

数字の先に映し出せ 新たな時代 僕らの未来

(令和元年度「統計の日」ポスター標語)

★10月18日は統計の日です★

2020年1月 発行

青森県企画政策部統計分析課

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 TEL017-734-9164 FAX017-734-8038

e-mail tokei@pref.aomori.jp

この印刷物は24,000部作成し、印刷経費は1部あたり53.8円です。